

災害活動中の消火栓に通行人が転落した事故について

中区宮川町 2 丁目の複合用途ビルに出場した消防隊が、消火栓の蓋を開けた状態にしていた間に、歩行者（男性・42 歳）が片足を転落し、負傷を負わせてしまいました。

1 事故発生の状況

自動火災報知機の発報により出場した消防隊は、消火栓からの揚水操作を行うために、まず消火栓の蓋を開け、ポンプの吸管を接続しました。その後、注意喚起用のセーフティコーンを車両に取りに行くために消火栓を離れた間に、事故が発生しました。

2 事故の概要

(1) 事故の発生日時

令和元年 8 月 1 日（木）午後 11 時 45 分ころ

(2) 発生場所

横浜市中区宮川町 2 丁目 55 番地先

3 負傷の程度

左第 5 中足骨基底部剥離骨折、左側胸部打撲、左下腿擦過傷
（現在も通院加療中です。）

4 再発防止に向けた対策

- 消火栓の蓋開放時に転落・転倒の危険がある場合は、消火栓への落下防止措置としてセーフティコーンの配置を優先して実施しています。
- 夜間はフラッシュランプ付きのセーフティコーンを配置し注意喚起に役立て、危険個所がある場合は、隊員が交通整理を実施しています。

5 その他

事故発生から、発表についてご本人と調整していましたが、今般、ご本人からの了承が得られたため、本日の発表となりました。

太田 孝 中消防署長のコメント

負傷をされた方に対しては改めてお詫び申し上げます。
災害現場における安全管理を徹底し、署員一丸となって再発防止に取り組んでまいります。

お問合せ先

消防局中消防署副署長 岸 了人 TEL 045-251-0119